

令和4年度事業報告について

1. 新型コロナウイルス感染症対策について

一昨年より猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症については、法人としてもできる限りの対策と職員への注意喚起を行い、また、利用者さま・ご家族のご協力のもと感染拡大期には施設（たくま荘・おおはま荘・ケアハウスたくま）での面会制限等も実施し、その結果、入所者・ご家族には直接面会できない苦痛を長期にわたり強いことが幾度もありました。

しかしながら、職員・関係者の努力にもかかわらず、令和4年度では、たくま荘、おおはま荘、ケアハウスたくま、大浜デイサービスセンターで新型コロナ感染者が判明し、拡大防止対策に追われることになりました。

たくま荘

令和4年9月1日入所者の感染判明、9月20日に終息するまで入所者18名、職員6名、ショートステイ利用者6名、合わせて30名が感染し、うち入所者1名がお亡くなりになりました。

たくま荘デイサービスセンター

令和4年5月5日～5月7日、職員が濃厚接触者となったため休園
令和4年6月23日～6月25日、職員1名が感染のため休園
令和4年9月2日～9月10日、休園、たくま荘の職員が新型コロナウイルスに感染し、たくま荘の人員不足を補うため、たくま荘デイサービスセンターを休園し、デイの職員はたくま荘のヘルプをしました。

ケアハウスたくま

令和4年8月24日 入所者1名感染。9月3日終息。
令和4年12月15日 入所者1名感染、令和5年1月2日終息まで入所者3名が感染しました。

おおはま荘

令和4年12月29日 職員1名の感染判明、ショートステイ利用者3名感染、令和5年1月4日終息。
また、おおはま荘では、令和5年1月31日から2月16日までノロウイルス感染があり、入所者10名、職員4名が感染し、2月16日ようやく終息しました。

大浜デイサービスセンター

令和4年4月27日～5月2日 職員1名、利用者1名感染。
令和4年8月30日～9月5日 職員1名、利用者1名感染。

令和 5 年 1 月 31 日

職員 1 名感染。

ひとたび施設内で感染が発生すると、終息までかなりの時間を要し、予想以上の緊張と心配が続くことになり、職員の疲労も並大抵ではありませんでした。

あらためて感染症の怖さを思い知らされました。

さまざまな感染対策を施し、また、職員には体調が普段と違うと感じれば、躊躇なく仕事を休むことを徹底していますが、今や誰もがいつ、どこで感染しても不思議でない状況です。令和 5 年 4 月以降、新型コロナの感染状況はかなりすくなくなっていて、感染症法上の位置づけが 2 類から 5 類になりましたが、この現状を踏まえ、法人として職員とともにより一層注意深く感染予防に努めてまいります。

2. おおはま荘厨房設備の整備について

地域密着型特別養護老人ホーム おおはま荘の厨房設備について業務の効率化を図るため、食器洗浄機及び食器乾燥機を設置しました。

おおはま荘はユニット単位で食器の洗浄、乾燥等をしていましたが食器乾燥などは家庭用の食器乾燥機を設置しているため乾燥温度が低く安全性に欠ける点がありました。また、食器洗浄についてもユニットごとに食器を管理しているため調理員がユニットごとをめぐって食器の洗浄を行っているため業務効率にかけていたため、それらを解消するため厨房にて食器の管理を一元化するようにしました。

購入費用は、食器洗浄機、食器乾燥機合わせて 1, 5 2 0, 0 0 0 円となっております。

3. 部署別事業計画及び事業目標

特別養護老人ホームたくま荘

令和 4 年度は、たくま荘の入所者数が漸減しており、前年度と比べて介護報酬が少なくなりました。

地域密着型特別養護老人ホームおおはま荘

令和 4 年度は、1 月からショートステイ利用者が激減しており、おおはま荘ショートステイをどうするかを考える時期に来ています。

たくま荘デイサービスセンター

一時、利用者が減っていましたが、令和 4 年度後半から利用者の増が見受けられるようになり、利用者の確保により一層努める必要があります。

大浜デイサービスセンター

年々、利用者が減っており経営的に非常に難しくなっております。荘内地区の住民が減っておりますので、今後の利用者増はなかなか難しいと考えられます。おおはま荘のショートステイと同様存廃をも考慮する時期に来ていると思われま

ケアハウスたくま

入所者数が平均 47～48 名で推移しており、この入所者数を確保することが肝要と考えております。

居宅介護支援事業所たくま荘

利用者数は、ケアマネジャー5名で月 189 件で、年度当初の目標件数が月 190 件でしたから、ほぼ目標を達成しました。今後とも現状を維持するように努めます。